

2006年7月17日ジャワ西部地震津波と周辺域での津波規模

The West Java Tsunami of July 17, 2006 and Tsunami Magnitudes in the Java Region, Indonesia

羽鳥 徳太郎 [1]

Tokutaro Hatori[1]

[1] なし

[1] None

2006年7月17日ジャワ島南西沖で規模の大きな地震が発生し、インド洋各地で津波が観測された(全振幅値: クリスマス島 82cm、ココス島 8cm、ロドリゲス 70cm、周期 5-15分)。ジャワ島バンガンダラン付近で、死者 525人以上と新聞報道され、300kmの区間で遡上高が 6-7mに達した(都司・他、2006)。震央距離-波高関係図によれば、津波マグニチュード $m = 3$ と判定される。地震規模 ($M_s 7.2$)と比べ、津波の規模は3階級上回り、「津波地震」とみなされる。

ジャワ島近海の津波は、1722年以降からカタログに収録されている(Soloviev and Go, 1984)。大規模なものは、スンバ海溝沿いに発生した。1977年スンバ津波のマグニチュードを見直すと、 $m = 4$ と格付けされ、この区域で最大級であった。1994年ジャワ東部地震 ($M_s 7.2$)による津波は $m = 3$ であり、「津波地震」であった。そのほか、ジャワ島沿岸付近の歴史地震 ($M 6.0-6.5$)で、津波規模が平均以上のものが数例記録されている。ジャワ島近海の津波は、太平洋側の同じ規模の地震と比べ、津波マグニチュードが 1-2階級(波高にして 2-5倍)上回るものが多い。